



# 2017年3月期 第2四半期 決算説明会

---

当社グループは、当年度より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。なお、前年度の数値についても、IFRSに準拠して開示しております。

**シスメックス株式会社**

代表取締役会長兼社長 家次 恒

2016年11月10日

## 本日の内容

---

Chapter 1 2017年3月期 第2四半期 決算総括

Chapter 2 2017年3月期 業績予想

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

## Chapter 1

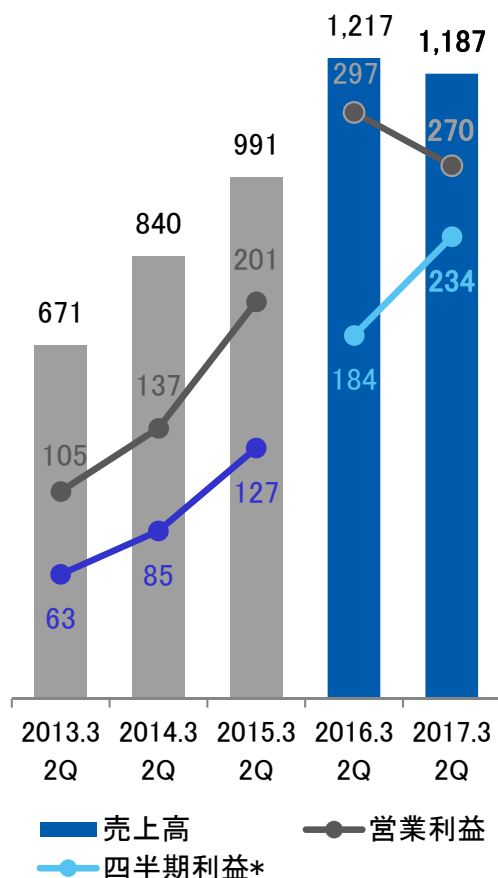
---

# 2017年3月期 第2四半期 決算総括

# 第2四半期 決算総括



(億円) 日本基準 IFRS



\* 日本基準では親会社株主に帰属する四半期純利益  
IFRSでは親会社の所有者に帰属する四半期利益を記載

	2017年3月期 2Q	前年同期
1USD	105.3円	121.8円
1EUR	118.2円	135.1円
1CNY	15.9円	19.4円

Copyright by Sysmex Corporation

	2017年3月期 2Q		前年同期		(億円) 前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	1,187.9	100%	1,217.7	100%	97.6%
売上原価	488.9	41.2%	491.1	40.3%	99.5%
販売費及び一般管理費	364.2	30.7%	363.0	29.8%	100.3%
研究開発費	72.8	6.1%	69.4	5.7%	104.9%
その他の営業損益	8.3	0.7%	3.0	0.2%	275.8%
営業利益	270.3	22.8%	297.1	24.4%	91.0%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	234.8	19.8%	184.6	15.2%	127.2%

- **売上高** 現地通貨では全所在地で増収も、円高の影響を受け円ベースでは減収
- **営業利益** 円高の影響および原価率悪化等により減益
- **為替差損益** △19.6億円 (前年同期 △12.3億円)
  - 為替の影響 売上高 △169.5億円 営業利益△38.1億円
  - 前年同期為替レート適用の場合 売上高 111.5% 営業利益 103.8%
  - ※ 為替の影響および一過性の要因 (寄附等) を除外した場合は営業利益 108.2%
- **四半期利益** 日独租税協定改正の影響 (+51.2億円) 等もあり増益

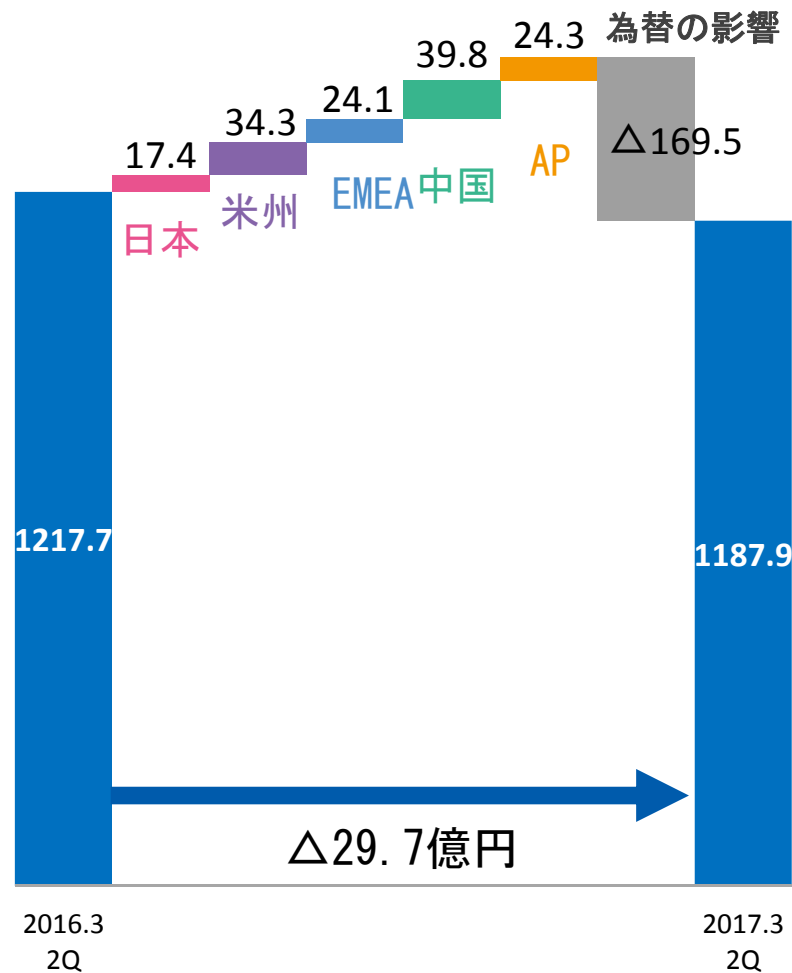
# 売上高・営業利益の増減要因



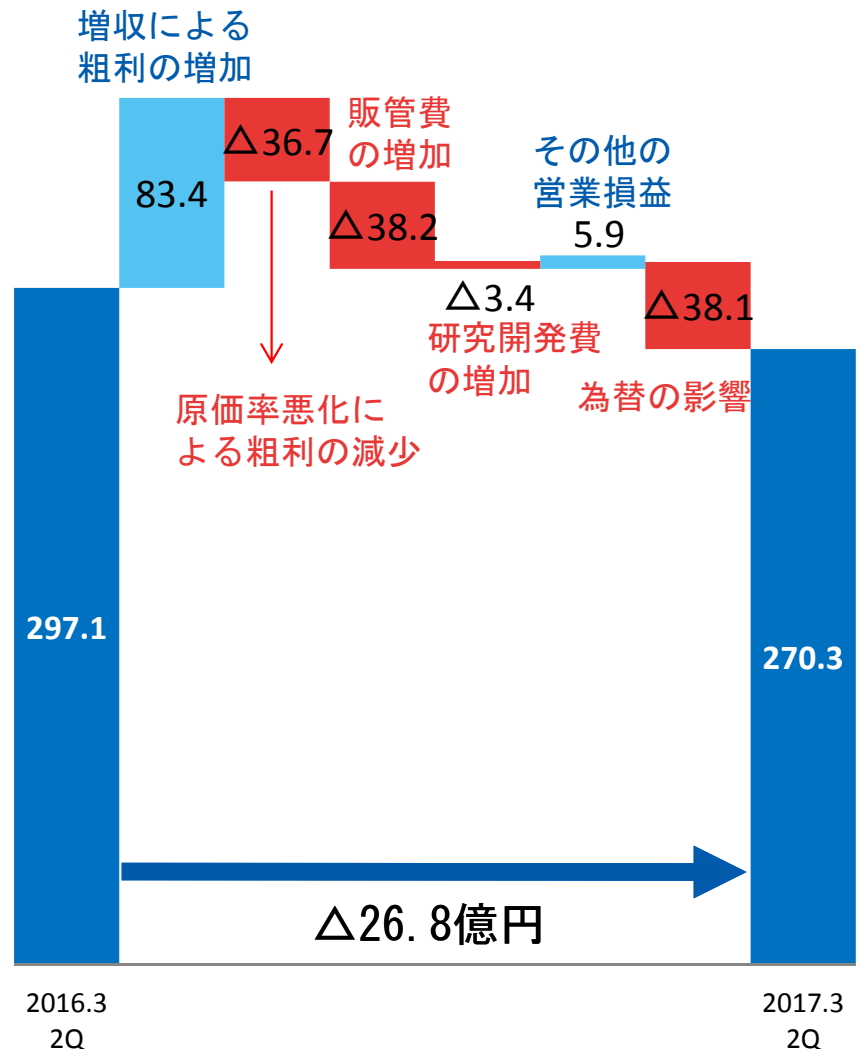
(億円)

## 売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く



## 営業利益



# 連結財政状態計算書の増減要因



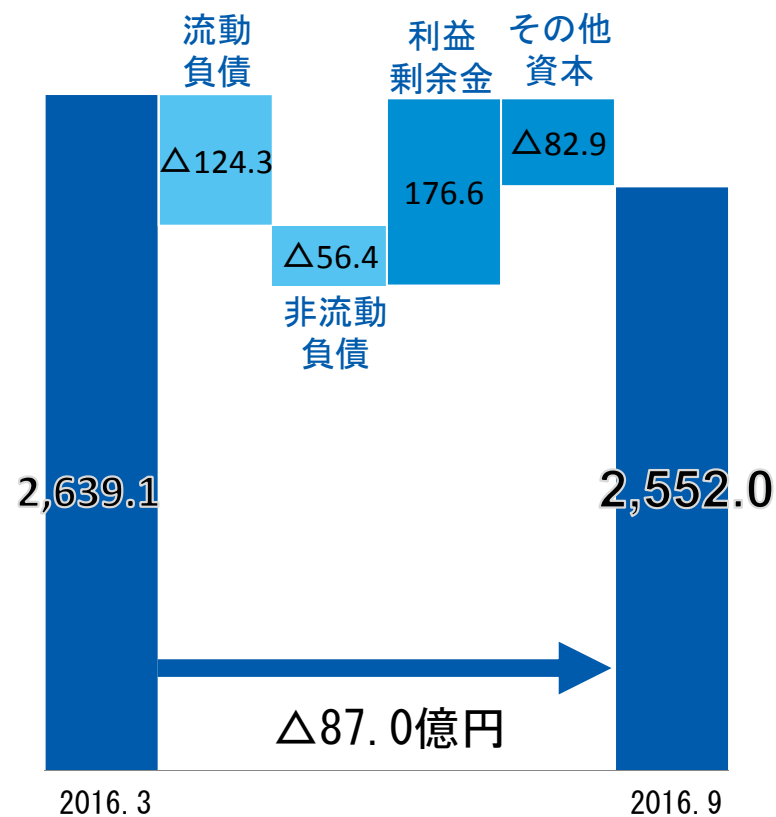
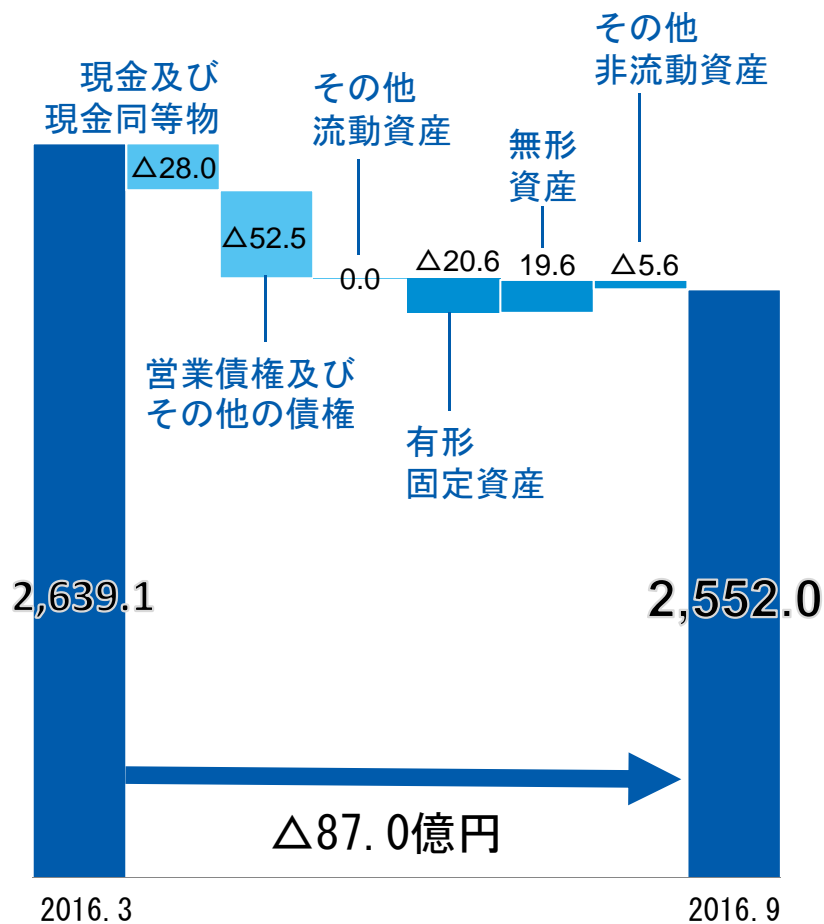
(億円)

## 資産の部

流動資産  $\Delta 80.4$   
 非流動資産  $\Delta 6.6$

## 負債・資本の部

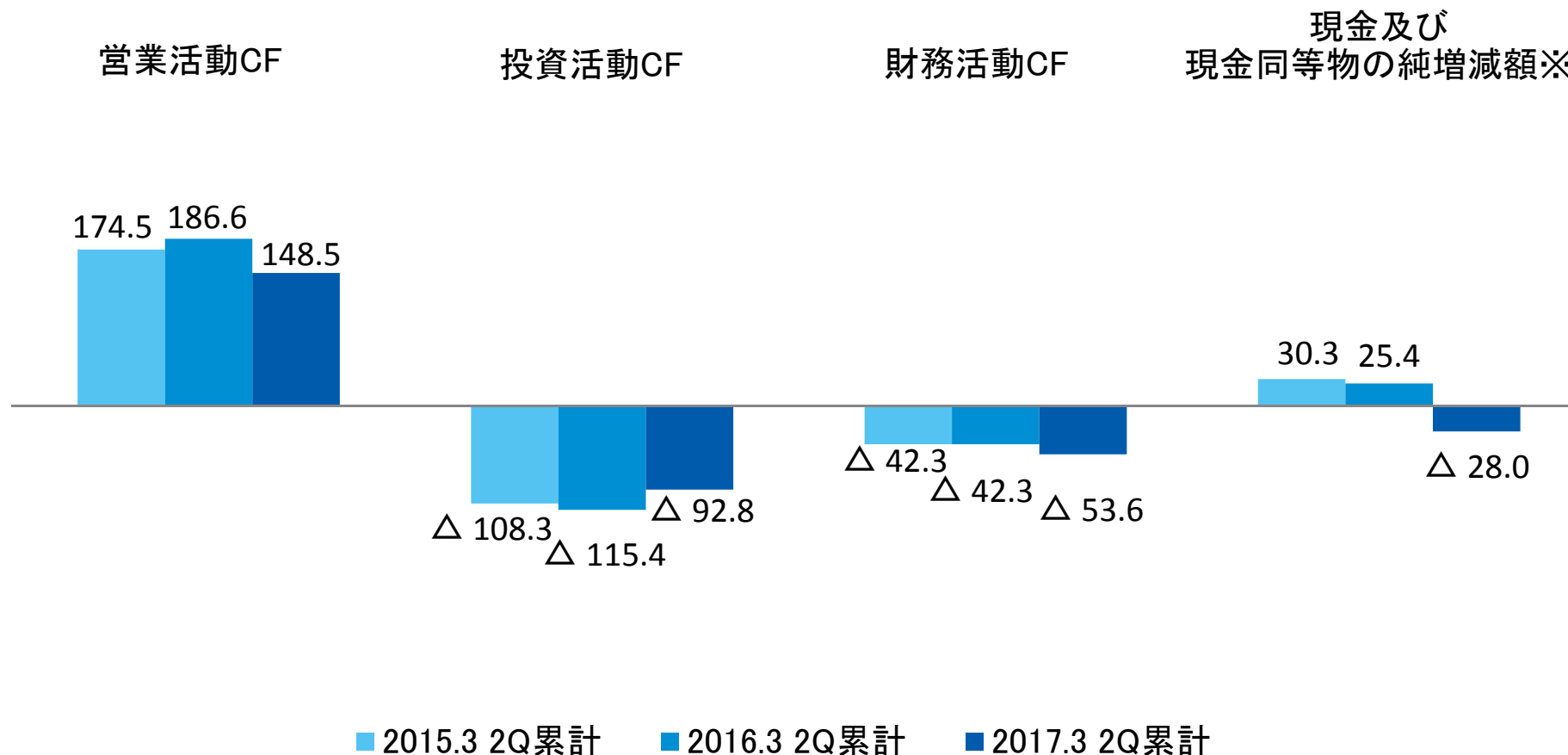
負債  $\Delta 180.7$   
 資本  $+ 93.6$



# キャッシュフローの推移



(億円)



※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております  
 ※2015.3 2Q累計は日本基準の金額です

# トピックス



月は当社リリース月に基づく

## M&A・アライアンス

- シーメンスヘルスケア社との血液凝固関連製品に関するグローバルでの販売・サービス契約を更新（4月）
- ゲノム医療の実用化に向けた体制強化のため、理研ジェネシスの株式追加取得による子会社化（6月）

## 拠点整備

- ミャンマーにシスメックスアジアパシフィックの支店を設立（5月）

## 製品・技術

- 糖鎖マーカーを用いた新たな免疫検査試薬の提供を目指し、GL-i社と共同開発を推進（7月）
- 他家iPS細胞由来 網膜色素上皮細胞(RPE細胞)の移植前免疫反応検査法に関し、株式会社ヘリオスおよび大日本住友製薬株式会社と共同研究開発を開始（7月）

## その他

- 神戸大学「国際がん医療・研究センター(仮称)」へ寄附（8月）
- 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に初選定（9月）

MEMBER OF  
**Dow Jones**  
**Sustainability Indices**  
In Collaboration with RobecoSAM



# 所在地別売上高



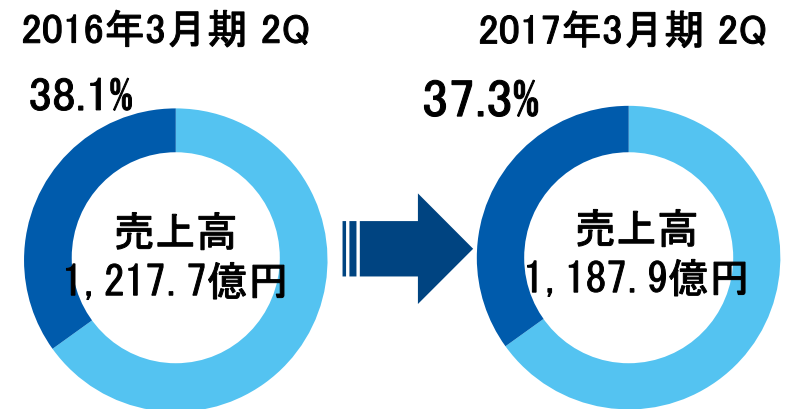
(億円)

所在地別売上高 (外部売上)							
所在地別	2017年3月期 2Q		前年同期		前年同期比		現地通貨
	実績	構成比	実績	構成比	円		
売上高	1,187.9	100%	1,217.7	100%	97.6%		-
米州	263.3	22.2%	265.9	21.8%	99.0%		114.6%
EMEA	320.0	26.9%	348.3	28.6%	91.9%		105.1%
中国	284.0	23.9%	306.3	25.2%	92.7%		113.1%
AP	97.4	8.2%	85.3	7.0%	114.2%		-
日本※	223.0	18.8%	211.8	17.4%	105.3%		-

※IDEXX社等含む外部売上

為替レート		
	2017年3月期 2Q	前年同期
1USD	105.3円	121.8円
1EUR	118.2円	135.1円
1CNY	15.9円	19.4円

## ● 新興国の売上高比率



# 事業別売上高



(億円)

	2017年3月期 2Q		前年同期		前年同期比	参考: 前年同期比 (前期レート)
	実績	構成比	実績	構成比		
ヘマトロジー	749.8	63.1%	779.2	64.0%	96.2%	110.2%
尿	72.8	6.1%	88.0	7.2%	82.7%	95.6%
HU-BU	822.6	69.2%	867.2	71.2%	94.9%	108.7%
免疫	37.8	3.2%	28.8	2.4%	131.0%	143.4%
生化学	16.9	1.4%	17.7	1.5%	95.5%	106.0%
凝固	205.6	17.3%	206.0	16.9%	99.8%	116.2%
ICH-BU	260.3	21.9%	252.6	20.8%	103.0%	118.6%
LS-BU	20.9	1.8%	19.0	1.6%	109.6%	122.6%
その他※	84.0	7.1%	78.6	6.5%	106.8%	116.1%
売上高 計	1,187.9	100.0%	1,217.7	100.0%	97.6%	111.5%

※ 臨床検査システム(従来「HU-BUその他」に区分)、仕入商品(従来「その他IVD」に区分)、研究用・産業用FCM製品等  
前年同期実績数字は、2017年3月期1Qから事業区分を一部変更したことにより組み替えております。

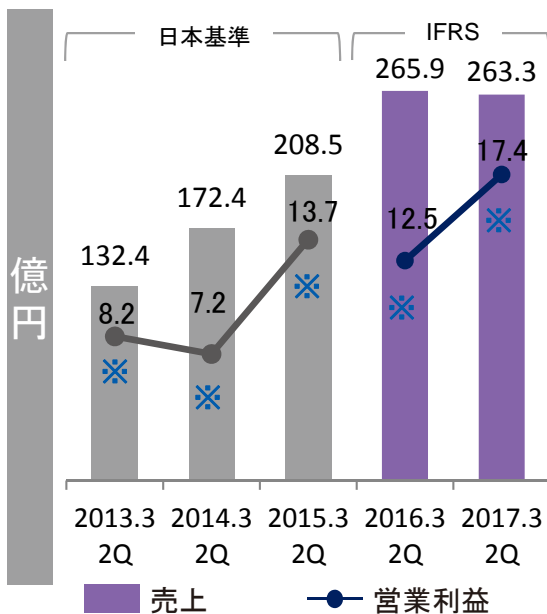
(従来「HU-BUのその他」を「その他」に区分)

HU-BU: HU-ビジネスユニット(ヘマトロジー分野、尿検査分野)

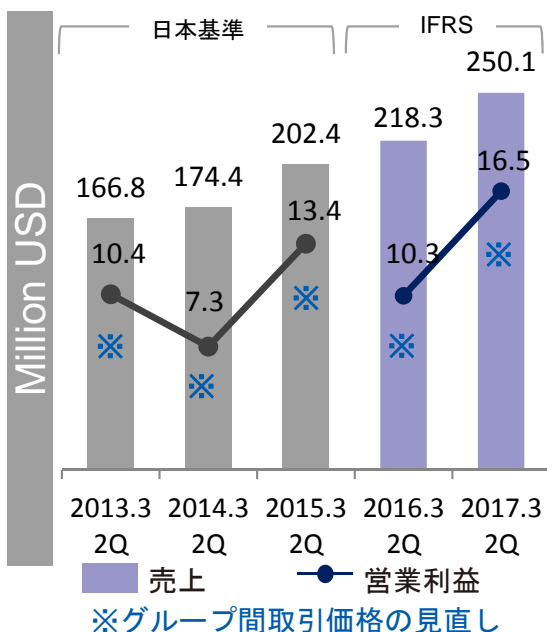
ICH-BU: ICH-ビジネスユニット(免疫、生化学、凝固検査分野)

LS-BU: LS-ビジネスユニット(ライフサイエンス分野)

# 米州における取り組み（所在地別）



(億円)	2017年3月期	前年同期	前年同期比	
	2Q		(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	263.3	265.9	99.0%	114.6%
営業利益※	17.4	12.5	138.3%	160.0%

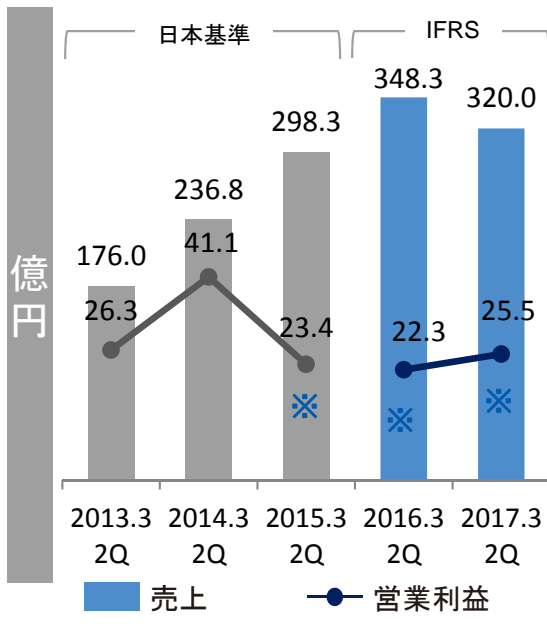


- 現地通貨ベースでは、米国を中心にヘマトロジー分野が好調に推移し二桁増収となるも、円高の影響により円ベースでは微減
- 増収効果および物品税の一時的な停止による影響(+2.6億円)に加えグループ間取引価格の見直し等により増益

## エリア別（現地通貨ベース）

- 米国 西海岸エリアの攻略等が好調なヘマトロジー分野、および凝固機器売上が貢献し増収
- 中南米 ブラジルの景気減速の影響が継続するも、メキシコのヘマトロジー政府大型案件等により増収

# EMEA※における取り組み（所在地別）

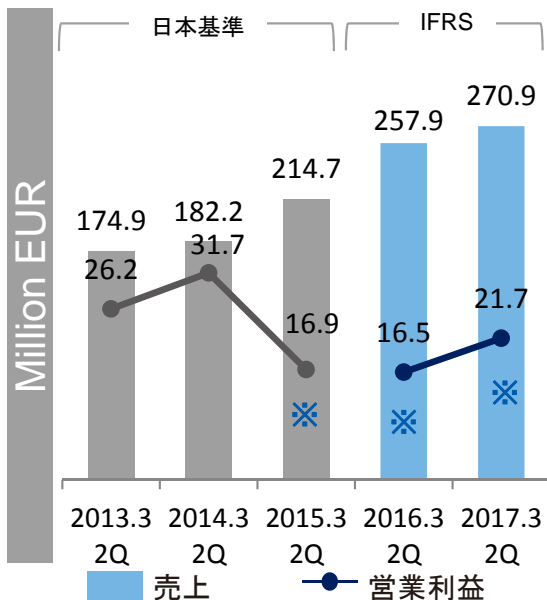


※欧州、中東、アフリカ地域

(億円)	2017年3月期	前年同期	前年同期比	
	2Q		(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	320.0	348.3	91.9%	105.1%
営業利益※	25.5	22.3	114.7%	131.2%

- 現地通貨ベースでは、先進国はドイツやフランスなどを中心に堅調に推移し、新興国では中東などで増収となるも、円ベースでは円高の影響により減収
- グループ間取引価格の見直しおよび販管費の抑制もあり増益

※ Partec、Inosticsを除外した前年同期比：売上 94.1%、営業利益 134.9%（円ベース）  
売上 107.6%、営業利益 154.2%（現地通貨ベース）



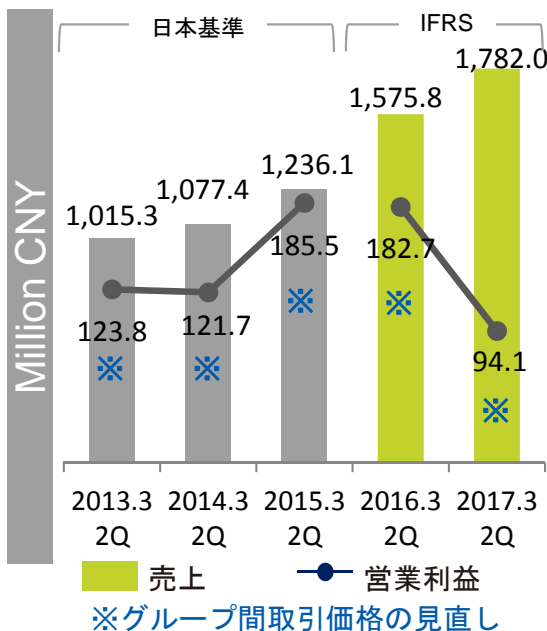
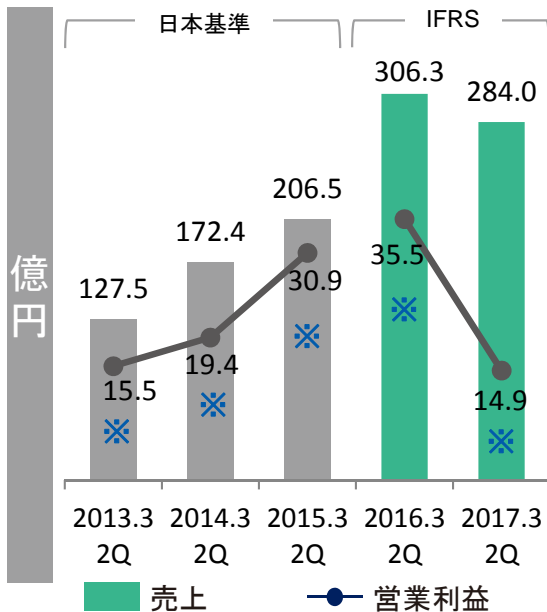
## エリア別（現地通貨ベース）

- 主要5カ国 ポンド安およびPartec、Inosticsの進捗遅れがあるも、上位市場向けXNが好調なドイツやフランスが伸長し増収
- 東欧・ロシア ロシアでヘマトロジーおよび凝固売上が伸長し増収
- 中東・アフリカ サウジアラビア等でヘマトロジー売上が伸長し増収

※グループ間取引価格の見直し

Copyright by Sysmex Corporation

# 中国における取り組み（所在地別）



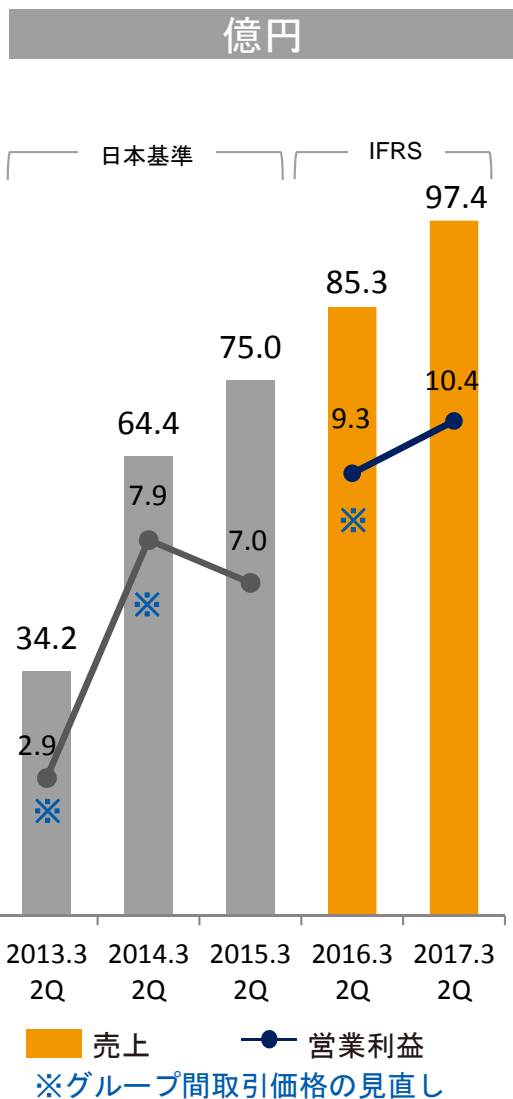
(億円)	2017年3月期 2Q	前年同期	前年同期比	
			(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	284.0	306.3	92.7%	113.1%
営業利益※	14.9	35.5	42.2%	51.5%

- 現地通貨ベースでは、外部環境変化の兆候が一部あるも、ヘマトロジー・凝固・免疫分野で増収。円ベースでは円高の影響により減収
- 対ドル人民元安の影響で、日本からの仕入価格(ドル建て)が上昇したことにより原価率が悪化し、大幅減益

## 分野別（現地通貨ベース）

- **ヘマトロジー分野** 機器設置台数の増加により試薬売上が伸長し増収
- **凝固分野** CSシリーズの販売好調および線溶系項目試薬の売上拡大により増収
- **尿分野** 新製品への移行期でもあり、UFシリーズの売上減少
- **免疫分野** HISCLシリーズの市場設置台数の増加により試薬売上が伸長し増収

# APにおける取り組み（所在地別）



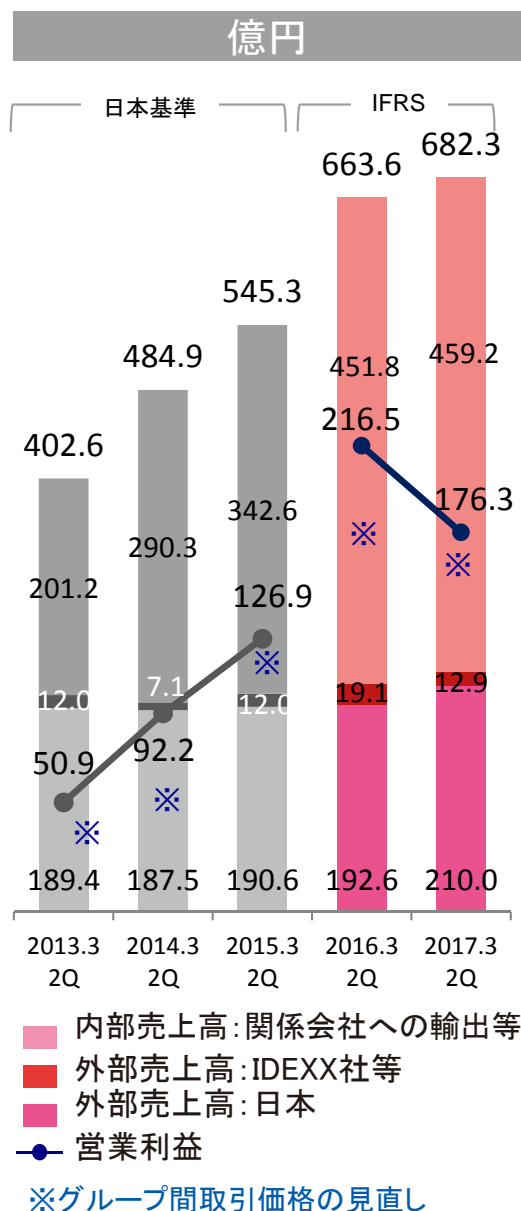
(億円)	2017年3月期 2Q	前年同期	前年同期比 (円ベース)
売上高	97.4	85.3	114.2%
営業利益	10.4	9.3	111.1%

- AP域内通貨における円高の影響があるも、大型案件を獲得したオーストラリアを中心に売上が伸長し二桁増収
- 増収効果および販管費の抑制が寄与し二桁増益

## エリア別

- **オセアニア** オーストラリアでのヘマトロジー分野等の大型案件獲得により大幅増収
- **東南アジア** インドネシア・ベトナムにおけるヘマトロジー分野の入札案件獲得が貢献し増収
- **韓国・台湾** 韓国売上が円高の影響により減収（現地通貨では増収）

# 日本における取り組み(所在地別)



(億円)	2017年3月期 2Q	前年同期	前年同期比
売上高	682.3	663.6	102.8%
外部	223.0	211.8	105.3%
日本	210.0	192.6	109.0%
IDEXX社等	12.9	19.1	67.5%
内部	459.2	451.8	101.6%
営業利益※	176.3	216.5	81.4%

- 日本国内売上の伸長を中心に、理研ジェネシス子会社化の影響もあり増収
- コスト削減を実施するも、グループ間取引価格の見直しや一過性の要因（寄附等）、グループ関係会社（海外）向け輸出の円高影響等により減益

- 日本 堅調なヘマトロジー分野の売上およびユニーク項目の採用が貢献した免疫、凝固の線溶系項目試薬が増収
- IDEXX社等 IDEXX社向け動物用機器の売上が円高等の影響により減収

## Chapter 2

---

# 2017年3月期 業績予想



# 業績予想修正 \*IFRS



## ● 前回予想との差異

	前回予想 (2016年5月公表)		今回予想 (2016年11月修正)		増減額	前期実績 (2016年3月期)		伸長率
	構成比		構成比			構成比		
売上高	2,750	100%	2,550	100%	△200	2,526	100%	+0.9%
営業利益	620	22.5%	550	21.6%	△70	607	24.0%	△9.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	405	14.7%	435	17.1%	+30	392	15.5%	+10.7%

## ● 想定為替レート

	通期 (2016年5月公表)	通期 (2016年11月修正)	下期 (2016年11月修正)	前期実績 (2016年3月期)
1 USD	110.0円	104.1円	103.0円	120.1円
1 EUR	125.0円	115.6円	113.0円	132.6円
1 CNY	17.0円	15.6円	15.3円	18.9円

## ● 修正の理由

為替レートが想定より円高に推移したこと等により、売上高および営業利益が前回予想を下回る一方で、日独租税協定の改正により、当期利益は前回予想を上回る事が見込まれるため。

# 連結 通期業績予想

※2016年5月公表より修正  
( ) 内は2016年5月公表数値



## 2017年3月期 連結業績予想 IFRS

売上高 **2,550億円**(2,750億円)      営業利益 **550億円**(620億円)      営業利益率 **21.6%**(22.5%)  
親会社の所有者に帰属する当期利益 **435億円**(405億円)      当期利益率 **17.1%**(14.7%)

投資計画 (IFRS)      設備投資 **95億円** (100億円)      減価償却費 **125億円** (142億円)      研究開発費 **155億円** (162億円)

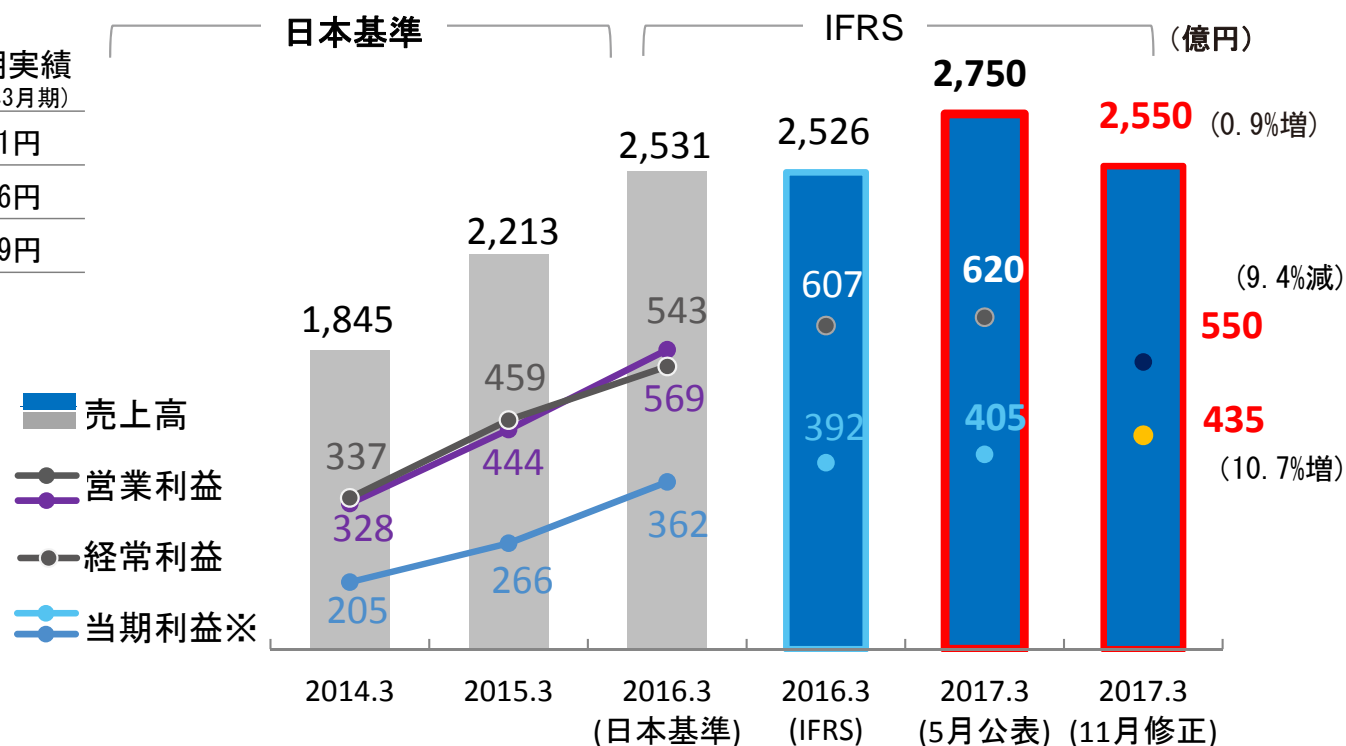
### ● 想定為替レート

	通期 (16年5月公表)	通期 (16年11月修正)	下期 (16年11月修正)	前期実績 (16年3月期)
1 USD	110.0円	104.1円	103.0円	120.1円
1 EUR	125.0円	115.6円	113.0円	132.6円
1 CNY	17.0円	15.6円	15.3円	18.9円

### ● 下期為替感応度の概算値

(2016年11月修正)

	売上 (下期)	営業利益 (下期)
USD	2.9億円	3.5億円
EUR	2.2億円	0.6億円
CNY	23.3億円	2.1億円



※ 日本基準では親会社株主に帰属する当期純利益、IFRSでは親会社の所有者に帰属する当期利益を記載

# 通期業績予想修正（所在地別） \*IFRS



(億円)

	前回予想 (2016年5月公表)	今回予想 (2016年11月修正)	増減額 (対前回予想)	増減率 (対前回予想)	前期実績 (2016年3月期)	
売上高	2,750	2,550	△200	△7.3%	2,526	
所在地別	米州	590	563	△27	△4.5%	559
	EMEA	733	651	△82	△11.1%	684
	中国	741	647	△94	△12.6%	651
	AP	226	212	△14	△6.1%	200
	日本	460	477	+17	+3.6%	430

	通期 (2016年5月公表)	通期 (2016年11月修正)	下期 (2016年11月修正)	前期実績 (2016年3月期)
1 USD	110.0円	104.1円	103.0円	120.1円
1 EUR	125.0円	115.6円	113.0円	132.6円
1 CNY	17.0円	15.6円	15.3円	18.9円

# 予想配当額 15期連続の増配（予想）



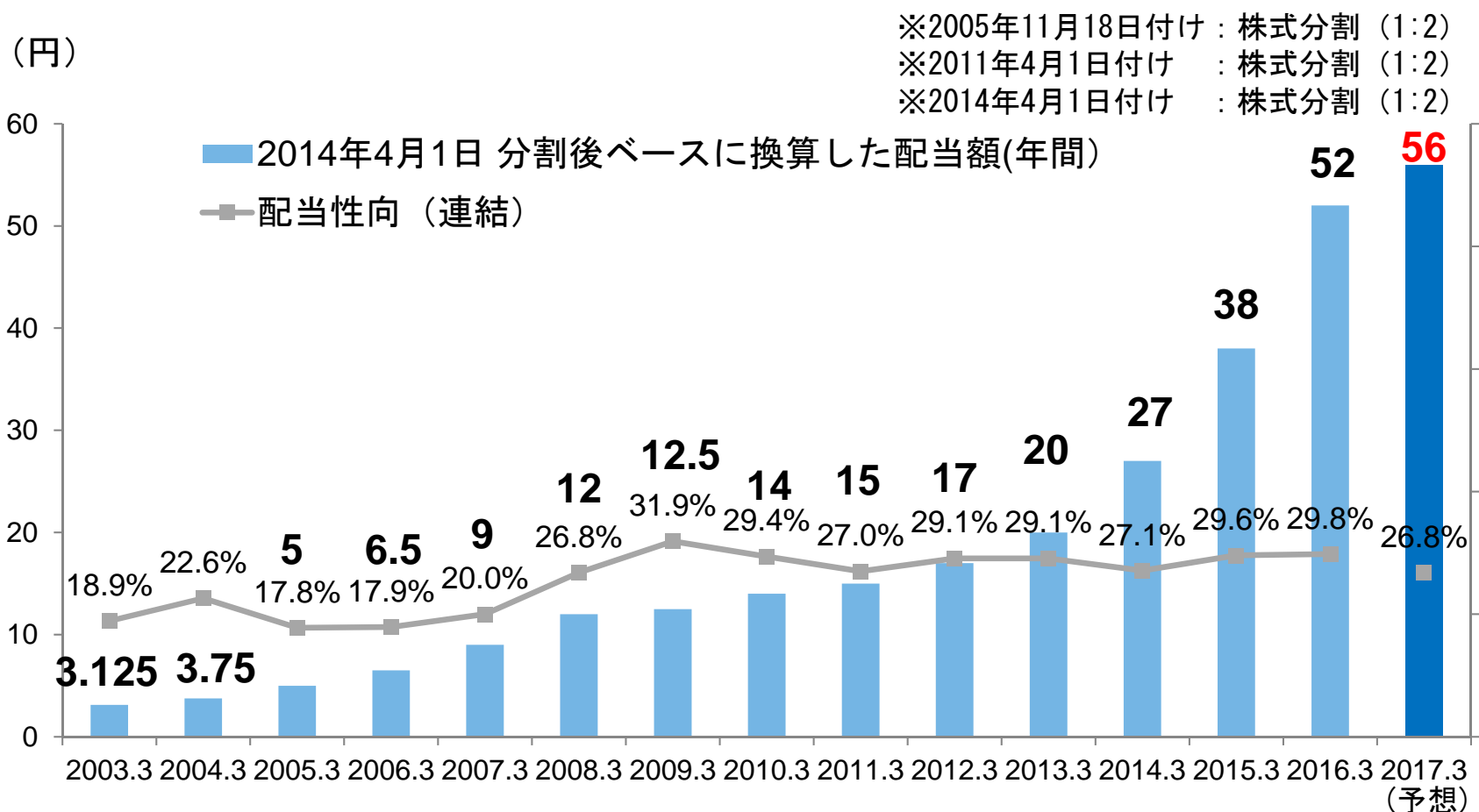
年初予想（中間27円・期末27円）に対し、2円の増配

	中間	期末	年間	配当性向
2017年3月期 年初予想	27円	27円	54円	27.7 %
2017年3月期 今回予想	28円	28円	56円	26.8 %

# 15期連続の増配(2017.3期予想)



シスメックスは、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。



# We Believe the Possibilities.

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

## シスメックス株式会社

〈お問合せ先〉

シスメックス株式会社

コーポレートコミュニケーション本部

IR・広報部

電話：078-265-0500

メールアドレス：info@sysmex.co.jp

[www.sysmex.co.jp](http://www.sysmex.co.jp)